

埼玉県さいたま市

活動名

大久保中学校「チャレンジスクール」

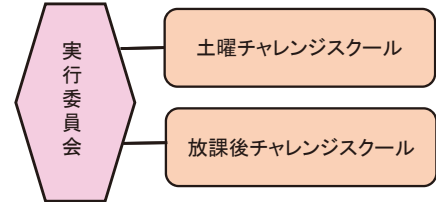
関係する学校名

大久保中学校

基本データ	学校支援活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	地域未来塾	0人	1人	31人	子供の平均参加人数 24人	24年度	有	無	無
	放課後子供教室	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	実施場所		学習支援			放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティ・スクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

体制図

チャレンジスクール推進事業



※放課後は小学校のみ

**活動の概要・経緯**  
 平成24年度に開設。当初は夏休みの宿題を一緒に取り組むことから始めた。その後は「きっかけづくりを応援する」を合言葉に様々な生徒のニーズに応え、定期テストに向けた学習と受験を控えた3年生の学習の二本立てで実施している。また、PTAの活動にチャレンジスクールのお手伝いが位置付けされてからは、保護者にも関心を持ってもらえるようになり、登録生徒も毎年増加した。ボランティアの構成も、地域の人・卒業生・近隣の大学生と10代から70代まで各年代が揃い、生徒の成長を楽しみにしながら、チームワークと工夫で充実した活動を行っている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 学習環境を整えて集中した時間にするため、テスト前の全体チャレンジと部活動引退後の3年チャレンジの2本立てで実施している。1日の流れは、始めの会で「天声こども語」や「天声人語」を全員で音読み、チャレンジノートへ取り組む教科や課題を書いて提出した後、学年別クラスまたはマンツーマンクラスに分かれ勉強をする。2時間の学習の後、さらに勉強したい生徒は「Good Job」カードを学習アドバイザーに渡し、30分延長学習ができるようになっている。この流れが生徒理解に役立ち、ボランティアとの関係を良好なものとした。学習内容は、5教科のテスト対策の他、理科の単元ごとの講座、大学生に聞く勉強の仕方講座などを実施。3年生は、受験勉強の仕方、基礎・基本の徹底、実力テスト対策などを、教科別にマンツーマンクラスと応用クラスに分かれ、充実した時間を過ごしている。
- また、チャレンジスクール開設時より、普通教室の利用、保護者会等における説明時間の確保、担任の先生方のフォローなど学校の積極的な協力があつた。これによってボランティアの意識も高まり、良いものを作っていこうという雰囲気になった。この環境が「参加して勉強しよう」という生徒の姿勢につながっている。

【実施に当たっての工夫】

毎回実施の前に、教室コーディネーターやアドバイザーのリーダーと打ち合わせし、前日にボランティアへ当日の役割分担と配置を発信している。また、動線を考え、間隔を開けながらコの字に机を並べた教室とマンツーマンの教室を別に準備、生徒の座席を毎回指定して、名前が分かるようにしている。また、始めの会の司会者、音読のリーダーを輪番制とし、各教室のリーダーに大学生をたて、年長者がフォローする仕組みを作って、チームで生徒を応援していけるよう努めている。

● 事業を実施しての効果・成果

授業だけでは理解が難しい生徒や家庭学習が困難な生徒が、諦めることなく学習に向き合う仕組みを、地域と学校が連携・協働して作りあげてきた。その結果、登録生徒も36→84名と増え、在籍数の4分の1となり定着した。生徒もボランティアと学習できるのを楽しみにし、ボランティアもやりがいを持って参加している。生徒からは集中して勉強ができる、分からないところが分かるようになった、勉強時間が増えたという感想を、保護者からは感謝の声を頂いている。また、なかなか教室に入れなかった生徒も参加するようになり、どの子も成長するきっかけづくりを目指して、今後も取り組んでいきたい。



じっくり向き合ってもらい学習する3年生



生徒の目線で声をかけ応援する